

Ⅱ 平和の意義の普及

1 宣言の普及

中野区は、「憲法擁護・非核都市の宣言」に込められた恒久平和への願いを日常的に広く区民に伝えるため、平和資料展示室やモニュメントの設置、シンボルマークの制定を行ってきました。また、平和に関連した史跡の紹介も行っています。

(1) 中野区平和資料展示室

戦時中の区民の暮らしや学童疎開、空襲や原爆に関するパネル及び資料を5つのテーマで展示。戦争体験者による証言映像や平和書籍も自由に視聴・閲覧可能（入場無料）

- ・所在地…新井三丁目37番78号
中野区総合体育館 1階（平和の森公園内）
- ・アクセス…西武新宿線「沼袋駅」南口から徒歩5分
またはJR「中野駅」北口から徒歩17分
- ・開館時間…午前6時45分～午後10時30分
- ・休館日…第2月曜日、年末年始（総合体育館に準ずる）
- ・問合せ…03-3228-8229（平和・人権・男女共同参画係）



(2) 歴史民俗資料館

常設展示では、「武蔵野における中野の風土と人びとの暮らし」をテーマに展示しており、その中の「未来へ歩む中野（近現代）」のコーナーでは、戦時中の実物資料（焼夷弾、国民服など）を展示。（入場無料）

- ・所在地…江古田4丁目3番4号
- ・アクセス…西武新宿線「沼袋駅」北口から徒歩8分
- ・開館時間…午前9時～午後5時（最終入館午後4時30分）
- ・休館日…月曜日、第3日曜日、年末年始
- ・問い合わせ…03-3319-9221



(3) 中央図書館（平和コーナー）

中央図書館内の参考資料コーナーには、平和関連の書籍を約700冊あつめた平和資料コーナーを設置。

- ・所在地…中野二丁目9番7号
- ・アクセス…JR「中野駅」南口から徒歩7分
- ・開館時間…午前9時～午後9時
- ・休館日…原則第2月曜日（2月、6月及び11月は第4月曜日、年末年始）
- ・問い合わせ…03-5340-5070

(4) モニュメント

中野区では、平和の意義を伝える象徴として、区内の施設や公園等各地域にモニュメントを設置している。

① 「憲法擁護・非核都市」宣言塔

- ・所在地…中野四丁目8番1号
- ・アクセス…JR「中野駅」北口から徒歩3分、区役所前

1983(昭和58)年「憲法擁護・非核都市の宣言」1周年を記念して、宣言に込められた「憲法を大切に、世界中の人々と手をつなぎ、核をもつすべての国に、核兵器をすてよと訴える」という区民の声を表わすシンボルとして設置された。

現在の塔は、1992(平成4)年に宣言10周年にあたり、建て替えたもので、宣言文とスローガンが記されている。

※令和6年区役所建て替えに伴い新設予定



② 「護憲の像」ー母と子の平和ー

憲法擁護と平和の願いをこめて漫画家の森哲郎さんから区に寄付されたブロンズ像。

1984(昭和59)年5月3日、勤労福祉会館・女性会館(現在の産業振興センター)の前庭に設置された。作者は江田正盛氏。

- ・所在地…中野二丁目13番14号
- ・アクセス…JR「中野駅」南口から徒歩5分

③ 平和記念碑

「憲法擁護・非核都市の宣言」の4周年及び国際連合の定めた「国際平和年」を記念し、1986(昭和61)年8月に、平和の森公園に設置された。

この記念碑にはめこまれた石は、広島市庁舎の建て替えに伴い、それまで使われていた庁舎の被爆敷石を譲り受けたもの。長い歳月、原爆のすさまじさや恐ろしさを伝え続けて来たこの石に、区民の平和への願いである宣言文が刻まれている。



所在地…新井三丁目37番6号

アクセス…西武新宿線「沼袋駅」南口から徒歩3分、平和の森公園内

④憲法擁護・非核都市の宣言」銘板記念碑

宣言の意義を日常生活の中で広く伝えていくため、区民が憩い、集い、交流する場所である区内公園（70か所）に、1992（平成3）年度から1994（平成5）年度にかけて、宣言文を刻んだ記念碑を設置した。

※設置時点の状況

設 置 年	公 園 名
1992(平成3)年度	杉山、新井薬師、江原、城山、栄町、大和、北中野、沼袋西、上鷺東、中央西、宮前、丸山、桜山、南台、丸山塚、囲町、早稲田通り、上高田二丁目、北江古田、鷺宮運動広場
1993(平成4)年度	沼袋、桃園川、上鷺宮、朝日が丘、武蔵台、上の原、西大和、川添、新井南、弥生、八成、文園、みなみ、中央、東山、みはと、さきの葉、こうさぎ、たんぽぽ、れんげ、みずのとう、鷺六、大和北、南台三丁目、東郷、上高田北、かしの木、アカシア広場、大和鹿鳴、弥生こぶし
1994(平成5)年度	中野上高田、塔の山、啓明、本六、谷戸運動、南部、千代田、若葉、あじさい、若の芽、ぱんだ、おたき、上高田、囲桃園、新井東、沼四緑、双鷺、こまどり、仲町、江古田四しいの木

⑥ 被爆クスノキ2世・被爆アオギリ2世

2002（平成14）年9月3日、平和の森公園第二期整備区域の開園式において、憲法擁護・非核都市の宣言20周年を記念し、長崎市、広島市の両市よりそれぞれ、被爆したクスノキとアオギリの苗木の寄贈を受け、植樹を行った。また、2022（令和4）年8月15日、憲法擁護・非核都市の宣言40周年を記念し、広島市のアオギリ2世の苗木を、中野区立総合体育館前に植樹を行った。

【被爆クスノキ2世】

1945（昭和20）年8月9日午前11時2分、長崎市に原子爆弾が投下された。

被爆クスノキ2世の親木は、爆心地の南東約800mの地点にあった山王神社で被爆した。一時は枯れそうになったが、その後樹勢を盛り返し、現在は長崎市の天然記念物に指定されている。この親木の種から育てられたのがこの被爆クスノキ2世である。

【被爆アオギリ2世】

1945（昭和20）年8月6日午前8時15分、広島市に原子爆弾が投下された。

被爆アオギリ2世の親木は、爆心地の北東1.3kmにあった旧広島逓信局の中庭で被爆したが、焦土の中で青々と芽を吹き返し、樹皮が傷跡を包むように成長を続けている。この親木の種から育てられたのがこの被爆アオギリ2世である。

所在地…新井三丁目37番6号

アクセス…西武新宿線「沼袋駅」南口から徒歩3分、平和の森公園内

【被爆クスノキ2世】



【被爆アオギリ2世】



【被爆アオギリ2世（40周年記念植樹）】



⑦ ポプラ2世

2006（平成18）年3月25日、戦後60周年記念として、広島市の市民グループから戦災復興のシンボルとなったポプラの苗木の寄贈を受け、平和の森公園に植樹を行った。

所在地…新井三丁目37番6号

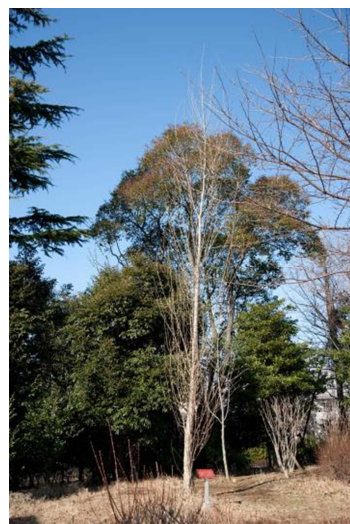
アクセス…西武新宿線「沼袋駅」南口から徒歩3分、平和の森公園内

【ポプラ2世】

【ポプラ2世】

戦後、広島市基町の水辺は被災して住居を失った人々の生活の場となった。1957（昭和32）年の供木運動により、ポプラが多く植えられた。その後、護岸整備で多くの樹木が伐採されるなか、1本のポプラの樹が水辺のシンボルとして残された。

2004（平成16）年9月の台風で根こそぎ倒れたが、多くの市民の声によって、再生が決断され、倒木から3日後に再び同じ水辺に立ち上がった。残る根に希望を託し11mに切り詰められたポプラが今も多くの市民に見守られている。その根元で育ったのがポプラ2世である。



(5) シンボルマーク

1985(昭和60)年、戦後40年と「憲法擁護・非核都市の宣言」3周年を記念して、中野区は、全世界の人々に平和を呼びかけ、ともに考えるための非核・平和のシンボルマークを募集した。

30点の応募があり、審査の結果、東中野で建築設計事務所を営んでいる宮坂健二氏の作品が入選。

このマークは、平和の象徴である鳩に中野区章と地球をあしらい、鳩が中野から大きく世界へ羽ばたこうとする姿を表しており、中野区民の平和への祈りが全世界へ広がり、恒久平和が築かれることを願っている。

決定してから現在まで、このマークは、平和推進のため、スローガン「憲法をいかそう くらしに 中野のまちに」横断幕や各種パンフレット等に使用されている。

○ 制定の経過

- ・ 1985(昭和60)年5月25日、6月15日号の中野区報でシンボルマークの募集を呼びかける。
- ・ 30点の応募があり、職員による審査会で2度の投票により、入選作1点、佳作2点、努力賞1点を選出。
- ・ 7月20日、入選、佳作、努力賞各作品の作者の表彰式を実施し、区長より賞状と記念品を贈呈。



(6) 史跡

中野区内には、空襲時の傷跡が残るなど、戦争の記憶を呼び起こす貴重な史跡が残っている。

① 旧中野刑務所表門

中野刑務所(旧豊多摩刑務所)は、「治安維持法」が1945(昭和20)年に廃止されるまで、政治犯や思想犯を多く収容していた。戦後、ねばり強い住民運動により、1983(昭和58)年3月に廃庁、その跡地は、平和の森公園となった。

現存する赤レンガの表門は後藤慶二氏の設計による大正時代の名建築と言われている。



- ・所在地…新井三丁目37番3号 旧法務省矯正管区敷地内
- ・アクセス…西武新宿線「沼袋」駅下車、南口から 徒歩4分

② 明治寺(百観音)のイチヨウ

1945(昭和20)年5月25日の空襲で炎上した本堂の熱で片側が焼かれ、その時に洞穴ができたイチヨウの木である。

この洞穴は、以前は人が入れるぐらいの大きさがあったが、木の成長に伴い、その穴はだんだん小さくなってきている。

- ・所在地…沼袋二丁目28番20号 明治寺境内
- ・アクセス…西武新宿線「沼袋」駅下車、北口から 徒歩4分



③ 東光寺のしいの木



「山の手大空襲」で、しいの木に焼夷弾が落ちて木が枯れたが、根が生きていたので新しい芽が出て成長し、大きな枝を広げて朽ちた大木の幹を抱き支えるかのように、生き生きと天に向かって伸びている。

- ・所在地…上高田五丁目21番5号
- ・アクセス…西武新宿線「新井薬師前」駅下車、北口から 徒歩10分

④ 旧野方配水塔

空襲時の弾丸の傷跡が残されていた配水塔。

関東大震災後、都市化による水の需要に応えるため、江古田に設けられた給水場に1929(大正4)年、この野方配水塔 がつくられた。この配水塔は1966(昭和41)年に配水を 止め、2010(平成22)年に国の登録有形文化財(建造物) となった。

※現在は安全を含めた補修のため、銃弾跡を確認することはできない。

- ・所在地…江古田一丁目3番 みずのとう公園内
- ・アクセス…JR「中野」駅北口より、関東バス中12系統「江古田駅」行き乗車、「水道タンク前」下車、徒歩1分



⑤ 成願寺の防空壕



中野長者・鈴木九郎の寺として知られる成願寺に今も残っている防空壕は、総延長40メートル、総面積は約80平方メートル。壕は崩れる危険があったので、寺は鉄筋で補強工事を行った。

・所在地…本町二丁目26番6号

・アクセス…東京メトロ丸ノ内線、都営大江戸線「中野坂上」

駅下車、1番出口から徒歩3分

※防空壕を見学希望の際は、寺務所への事前の電話予約が必要。

⑥ 石棒さま

空襲によって破壊され、焼けただれた笠付の庚申塔。

戦後まもなく、地元の人々が崩れ落ちた石片を集めてセメントで固め、改めておまつりをした。それで石の棒のようになったことから「石棒さま」と呼ばれるようになった。

・所在地…中央一丁目41番1号

・アクセス…山手通り沿い、中野東学校 正門前の道の奥右手

東京メトロ丸ノ内線、都営大江戸線「中野坂上」駅下車

A1出口から徒歩3分



⑦ 白玉稲荷神社の常明灯



戦火を受けて、焼けただれた常明灯。

白玉稲荷神社は、もとは宝仙寺境内にあったが、明治維新以後の神仏分離の際に、現在の場所に分社された。

・所在地…中央二丁目8番24号

・アクセス…山手通り沿い、中野東学校向かい側

東京メトロ丸ノ内線、都営大江戸線「中野坂上」駅下車、

A2出口から徒歩2分

⑧布袋様



戦火をくぐり抜けた布袋様。地元の人が破損箇所を修理し、表面に茶色の塗装を塗って修復したもので、地元の皆さんの幸福と平和を見守っている。

・所在地…中央二丁目58番

・アクセス…区立宮前公園向かい側

東京メトロ丸ノ内線、都営大江戸線「中野坂上」駅下車、
A2出口から徒歩9分

2 区民活動の促進

平和への区民活動を支援するため、中野区では、平和企画展示、平和のつどい、地域平和事業といった様々な事業を通して、区民とともに平和の尊さを確認しています。

(1) 平和企画展示

(※かつては平和企画展示のうち一部の開催を「平和展」と呼んでいたが、2007(平成19)年度から名称を平和企画展示に一本化した)

国内外における戦争の惨禍を伝える写真や、平和に関するさまざまな作品や資料等を展示する催し。1983(昭和58)年から開催している。

<最近の開催状況>

<2017(平成29)年度>

- 第1回 「中野の空襲」(一部東京大空襲)
⇒(地域展開) 桃園区民活動センター
- 第2回 「広島・長崎の原爆記録写真」
⇒(協力) 被爆者団体の長広会がボランティアガイドとして協力
⇒(地域展開) ガード下ギャラリー、沼袋区民活動センター
- 第3回 「世界の紛争パネル展～紛争のない世界を目指して～」
⇒(協力) 認定NPO法人パレスチナ子どものキャンペーン
- 第4回 「シリア難民の子どもたち」
⇒(協力) 認定NPO法人国境なき子どもたち

<2018(平成30)年度>

- 第1回 「中野の空襲(一部東京大空襲)」
⇒(地域展開) 江古田区民活動センター
- 第2回 「広島・長崎の原爆記録写真」
⇒(協力) 被爆者団体の長広会がボランティアガイドとして協力
⇒(地域展開) ガード下ギャラリー、東部区民活動センター
- 第3回 「世界の被災地の現場より～安心して暮らせるまちづくり～」
⇒(協力) 認定NPO法人日本ハビタット協会
- 第4回 「国際支援の現場から見えること」
⇒(協力) NPO法人ピースウィンズ・ジャパン

<2019(平成31)年度>

- 第1回 「中野の空襲(一部東京大空襲)」
⇒(地域展開) 桃園区民活動センター
- 第2回 「広島・長崎の原爆記録写真」
⇒(協力) 被爆者団体の長広会がボランティアガイドとして協力
⇒(地域展開) ガード下ギャラリー、沼袋区民活動センター

- 第3回 「世界の子ども兵」
⇒（協力）認定NPO法人テラ・ルネッサンス
- <2020（令和2）年度>
- 第1回 ~~中野の空襲（一部東京大空襲）~~
~~⇒（地域展開）上高田区民活動センター~~
⇒新型コロナウイルス感染拡大により中止
- 第2回 「広島・長崎の原爆記録写真」
⇒（地域展開）ガード下ギャラリー、東中野区民活動センター
- 第3回 「中野の戦災」
- 第4回 「サダコと折り鶴」
⇒（協力）広島平和記念資料館
- 第5回 「紛争下を生きる子どもたち」
⇒（協力）公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
- 第6回 「いわさきちひろ平和のパネル展」
⇒（協力）公益財団法人いわさきちひろ記念事業団
- 第7回 「東京大空襲」
⇒（協力）東京都
- 第8回 「核兵器なき世界への連帯」
⇒（協力）ICAN
- <2021（令和3）年度>
- 第1回 ~~中野の空襲（一部東京大空襲）~~
~~⇒（地域展開）上高田区民活動センター~~
⇒新型コロナウイルス感染拡大により中止
- 第2回 広島・長崎の原爆記録写真
⇒（地域展開）ガード下ギャラリー、みなみらいず
- 第3回 『へいわってどんなこと？』原画展
⇒（協力）浜田 桂子氏
- 第4回 「世界の難民パネル展～紛争のない世界を目指して～」
⇒（協力）認定NPO法人パレスチナ子どものキャンペーン
- <2022（令和4）年度>
- 第1回 「中野の空襲」
⇒（地域展開）中野区平和資料展示室、上高田区民活動センター
- 第2回 「原爆ポスター展」
⇒（協力）平和首長会議
⇒（地域展開）中野区平和資料展示室、桃園区民活動センター
- 第3回 「第五福竜丸」
⇒（協力）公益財団法人第五福竜丸平和協会
- 第4回 「難民アスリート写真展」
⇒（協力）特定非営利活動法人国連UNHCR協会

（２）平和のつどい

年に１回、戦争中の体験や平和の大切さを訴える講演、映画の上映会等を行う“つどい”を開催している。１９８６（昭和６１）年から始まり、１９９０（平成２）年からは「平和のつどい」として、毎年開催している。

<最近の開催状況>

○ 平和のつどい２０１７

[２０１７（平成２９）年７月２９日・なかのZERO小ホール・２１３人参加]

「語り継ぐ記憶、伝えていく平和への願い」

講演 「戦跡写真が語る、戦争の記憶」

安島 太佳由氏（写真家）

映画 「ジョバンニの島」

○ 平和のつどい２０１８

[２０１８（平成３０）年７月２８日・なかのZERO小ホール・３３７人参加]

「未来へつなぐ、平和への願い」

講演 「東北、紛争地から考える復興、そして平和」

安田 菜津紀氏（フォトジャーナリスト）

映画 「母と暮せば」

○ 平和のつどい２０１９

[２０１９（平成３１）年７月２７日・なかのZERO小ホール・３３３人参加]

「平和の尊さを 未来へ」

講演 「平和をつくるを仕事にする～支援の現場で学んだひと・チーム・世界の変えかた～」

鬼丸 昌也氏（特定非営利活動法人テラ・ルネッサンス事務局長）

映画 「この世界の片隅に」

○ 平和のつどい２０２０

[２０２０（令和２）年１１月２２日・なかのZERO小ホール・１９６人参加]

「戦後７５年 平和への願いを新たに」

サダコの折り鶴貸与式

佐々木 祐滋氏（NPO法人SADAKO LEGACY副理事長）

講演 「核兵器をなくすためにあなたができること」

川崎 哲氏（ピースボート共同代表）

映画 「母べえ」

○ 平和のつどい２０２１

[２０２１（令和３）年７月４日・なかのZERO小ホール・２００人参加]

「平和への想いは国境を越えて」

上映会 「アフガニスタン 用水路が運ぶ恵みと平和」

講演 「アフガニスタンに命の水をー中村哲医師・PMSと共にー」

村上 優氏（PMS（平和医療団・日本）総院長・ペシャワール会会長）

○平和のつどい2022

[2022（令和4）年7月23日・なかのZERO小ホール・237人参加]

「未来へつなげる 平和の輪」

私たちの平和への思い

戦時経験者3名、区立小学校学生2名、区立中学校学生2名、中野区長、

中野区議会議長

中野区立南中野中学校吹奏楽部による演奏

講演 創作落語「ホタルの母」

桂 竹丸氏（落語家）

映画 「あの日のオルガン」

（3）平和資料展示室を活用した事業

終戦から75年にあたる2020（令和2）年度に平和資料展示室が開設。平和資料展示室内では、定期的に企画展示の実施を実施するとともに、平和の尊さを考えていただく場として活用。

○ 平和の折り鶴募集事業（折り鶴プロジェクト）

[2020（令和2）年11月6日～]

平和資料展示室内に常設で折紙を設置し、来場者に平和への想いを馳せながら鶴を折っていただく。集まった折り鶴は職員が千羽鶴にする。

2022年8月 千羽鶴完成

○ 平和のメッセージ募集

[2021（令和3）年11月6日～]

平和資料展示室開設1周年を記念し、来場者に平和への想いを自由に記入してもらう平和のメッセージ募集事業を実施

[2023（令和4）年3月4日～]

平和資料展示室で初の講座開催に伴い、来場者に平和への想いを自由に記入してもらう平和のメッセージ募集事業を実施

（4）次世代向け事業

これまで語り継がれてきた戦争の被害の実相とおもいを引き継ぎ、これからの平和について改めて次世代が自分事として考える機会として、2021（令和3）年より実施。

○ 「平和のつどい for Family」

[2021（令和3）年11月6日・中野区立総合体育館多目的室1・27人参加・対象小学生以下のお子さんと保護者]

アニメ上映会 「つるにのって～とも子の冒険～」

お話し会 「へいわってどんなこと？」浜田 桂子氏（絵本作家）

○「明日の平和のために次世代に伝えたい～あの時の時の記憶・あの時の想い～」

〔2023（令和5）年3月4日・中野区立総合体育館内平和資料展示室・9人参加・対象区内在住・在学〕

第一部 お話し会 戦争体験者2名

第二部 アニメ上映会「アゲハがとんだ-1945・3・10東京大空襲-」

（5）戦後70年祈念事業（平成27年度に実施）

太平洋戦争終戦、広島・長崎の原爆投下から70年にあたる2015（平成27）年度には、若い世代に戦争の悲惨さを語り継ぐため、通常開催している事業に加え次の事業を行った。

○ 平和のつどい For Youth

〔2015（平成27）年8月2日・野方区民ホール・70人参加〕

中学生による「平和の語り部」の話を聞いての感想発表

演劇「子どもが少国民といわれたころ—銀次郎とハルの場合—」（公演：劇団風の子OB）

○ 「平和の語り部」派遣事業

戦争の悲惨さ、平和の尊さを若い世代に継承するため、「平和の語り部」を区立中学校全校に派遣し、語り部からのお話と生徒の感想文（各校3篇）を感想文集にまとめた。

（実施日程）

5月21日（木）	南中野中学校	全校	（中野区原爆被害者の会）
6月13日（土）	第四中学校	1年生	（中野区赤十字奉仕団）
6月25日（木）	第二中学校	3年生	（中野区赤十字奉仕団）
6月25日（木）	第三中学校	2年生	（中野区原爆被害者の会）
6月26日（金）	第十中学校	1年生	（中野区赤十字奉仕団）
7月11日（土）	北中野中学校	全校	（中野区原爆被害者の会）
7月11日（土）	中野中学校	全校	（東京都原爆被害者の会）
9月4日（金）	第五中学校	3年生	（中野区原爆被害者の会）
9月12日（土）	緑野中学校	2年生	（中野区原爆被害者の会）
10月15日（木）	第七中学校	1年生	（中野区原爆被害者の会）
12月12日（土）	第八中学校	全校	（中野区原爆被害者の会）

○ 平和資料のデジタルアーカイブ化

過去に中野区が発行した平和関係資料を電子書籍化、区ホームページにて公開し、いつでも閲覧できるようにした。

（電子書籍化した資料）

・ 中野の戦災記録写真集

・ 平和の祈りを次代へ 中野区民戦争体験記録集

・ 平和の祈りを次代へ 中野区民戦争体験記録集（第二集）

・ 平和の祈りを次代へ 中野区民戦争体験記録集（第三集-広島・長崎を語り継ぐ-）

（６）戦後７５年祈念事業（令和２年度に実施）

太平洋戦争後、広島・長崎の原爆投下から７５年にあたる２０２０（令和２）年度には、次世代に戦争の悲惨さを語り継ぐため、通常開催している事業に加え、次の事業を行った。

○サダコの折り鶴貸与

広島平和記念公園にある「原爆の子の像」のモデルとなった佐々木禎子さんが実際に折った鶴を、東京２３区で初めて貸与を受けた。２０２０（令和２）年１１月２３日から中野区平和資料展示室で展示中。

○平和企画展示の拡充

例年、平和企画展示は年４回の実施となっているが、２０２０（令和２）年度は計７回実施

※詳細は平和企画展示ページ参照

○平和資料展示室開設

２０２０（令和２）年１１月６日（土）に中野区立総合体育館内に開設。
※詳細は平和資料展示室の運営と歴史ページ参照

（７）地域平和事業

地域における草の根からの平和活動促進のため、１９９１（平成３）年度から、各地域センター（現区民活動センター）、児童館、図書館で平和事業を実施している。

地域で身近に住んでいる方々の戦争体験談を聞いたり、パネル展等、地域毎に工夫をこらしたりした事業が展開されている。

<最近の開催状況>

○ 2018（平成30）年度

場 所	実 施 日	事 業 名（ 内 容 ）
中野区立中央図書館	通年	「平和資料コーナー」（中央図書館参考室内） 平和資料について収集し、一般資料と同様の貸出条件で、館外貸出もしている。平和資料は、主に6つの主題に関する資料としている
中野区立図書館 （全8館でそれぞれ実施）	7月28日 ～8月23日	「戦争と平和」特集 テーマに沿った掲示物や作成資料を関連図書とともに展示、貸出。ブックリスト『戦争と平和を考える本』も配布。
上高田図書館	7月25日	「戦争と平和を考える子ども会」（絵本の読み聞かせ、工作等）
中央図書館	8月1日	
本町図書館	8月4日	
南台図書館	8月4日	
東中野図書館	8月8日	
江古田図書館	8月8日	
野方図書館	8月18日	
鷺宮図書館	8月25日	

○ 2019（平成31）年度

場 所	実 施 日	事 業 名（ 内 容 ）
中野区立中央図書館	通年	「平和資料コーナー」（中央図書館参考室内） 平和資料について収集し、一般資料と同様の貸出条件で、館外貸出もしている。平和資料は、主に6つの主題に関する資料としている（戦争の記録、戦争の体験記、植民（地）政策・行政、日本国憲法、戦争と平和、平和教育）。（中央図書館開館年度である平成5年より、当該コーナーを設置している）
中野区立図書館 （全8館それぞれで実施）	7月27日 ～8月22日	「戦争と平和」特集 テーマに沿った掲示物や作成資料を関連図書とともに展示、貸出。ブックリスト『戦争と平和を考える本』も配布。

場 所	実 施 日	事 業 名（ 内 容 ）
中央図書館	7月31日	「戦争と平和を考える子ども会」（絵本の読み聞かせ、工作等）
本町図書館	8月3日	
南台図書館	8月3日	
鷺宮図書館	8月3日	
上高田図書館	8月3日	
東中野図書館	8月14日	
江古田図書館	8月14日	
野方図書館	8月17日	

○ 2020（令和2）年度

場 所	実 施 日	事 業 名（ 内 容 ）
中野区立中央図書館	通年	「平和資料コーナー」（中央図書館参考室内） 平和資料について収集し、一般資料と同様の貸出条件で、館外貸出もしている。平和資料は、主に6つの主題に関する資料としている（戦争の記録、戦争の体験記、植民（地）政策・行政、日本国憲法、戦争と平和、平和教育）。（中央図書館開館年度である平成5年より、当該コーナーを設置している）
宮の台児童館	8月13日	『おはなしきこう～子どもの頃戦争があった』地域にお住まいの戦争体験者より当時の食べ物や空襲、焼夷弾。防空壕、疎開や隣組など実際の戦争体験を伺う。 戦争関連資料（写真に子ども向けの説明をつけた物、火垂るの墓の抜粋）の展示 地域の方による「かわいそうなぞう」の読み聞かせ

○ 2021（令和3）年度

場 所	実 施 日	事 業 名（ 内 容 ）
中野区立中央図書館	通年	「平和資料コーナー」（中央図書館参考室内） 平和資料について収集し、一般資料と同様の貸出条件で、館外貸出もしている。平和資料は、主に6つの主題に関する資料としている（戦争の記録、戦争の体験記、植民（地）政策・行政、日本国憲法、戦争と平和、平和教育）。（中央図書館開館年度である平成5年より、当該コーナーを設置している）

○ 2022（令和4）年度

場 所	実 施 日	事 業 名（ 内 容 ）
中野区立中央図書館	通年	「平和資料コーナー」（中央図書館参考室内） 平和資料について収集し、一般資料と同様の貸出条件で、館外貸出もしている。平和資料は、主に6つの主題に関する資料としている（戦争の記録、戦争の体験記、植民（地）政策・行政、日本国憲法、戦争と平和、平和教育）。（中央図書館開館年度である平成5年より、当該コーナーを設置している）
みなみ児童館	8月2日～ 8月13日	平和事業「本を読んで、平和について みんなで考えよう」 購入した平和の絵本等と南台図書館から借りた本を並べ「平和の図書コーナー」設営。子ども達が気軽に手に取り、読み、語り合った。
朝日が丘児童館	8月23日	平和事業 本間さんの本の時間 地域の読み聞かせボランティアによる関連絵本の読み聞かせ。

3 戦争体験の継承

21世紀を担う世代に平和の尊さを伝えるため、中野区では、戦時中の悲惨な事実を語り継ぐ資料（書籍・パンフレット・DVD）を作成しています。

※作成した資料は、区立図書館または企画部平和・人権・男女共同参画係で閲覧・貸出を行っています。また平和資料展示室で閲覧することができます。

※所蔵先は、タイトルにある記号で表示します。

★…図書館所蔵 / ◎…平和・人権・男女共同参画係 / …平和資料展示室

お問い合わせ…中央図書館（5340）5070

平和・人権・男女共同参画係（3228）8229

タイトル		
★◎中野の戦災記録写真集	長く苦しかった戦争の間を懸命に生きた人々や、敗戦後何もかも失ってがれきの中から立ち上がった人々の姿等、当時を如実にもの語る貴重な写真記録集。 (1985(昭和60)年発行)	書籍
★◎平和への祈りを次代へ 中野区民戦争体験記録集1～3集	区民による戦争体験記。 1集 従軍体験22編、銃後の生活体験21編、空襲13編、終戦前夜10編 2集 従軍体験11編、銃後の生活体験15編、空襲15編、終戦前夜12編 3集 広島・長崎原爆記録19編、被爆を語り継ぐー聞き書きボランティア活動記録ー9編、広島ノートー被爆者広島平和の旅の記録ー5編 (1993(平成5)年～1995(平成7)まで年1回発行)	書籍
★グラフなかの 14号 ふたたび戦争は…区民の戦争体験集	多くの区民の戦時中の体験談や記録写真、なお残る戦争の傷痕を記録したグラビア、当時の中野区の動き等を掲載。 (1982(昭和57)年発行)	書籍

★グラフなかの 34号 非核・平和を求めて	「憲法擁護・非核都市の宣言」5周年を記念して発行。若者の平和ポスター作成過程の記録、区内青年への平和に関する路上アンケートの結果、平和レポートの旅参加者への密着取材等を掲載。 (1987(昭和62)年発行)	書籍
★◎中野区ビデオ広報特集号 平和への旅	1990(平成2)年に実施された女性と平和―広島への旅―の記録。外国人2名を含む10名の参加者の、事前学習から旅行中、又、帰郷後における真摯な活動を伝える作品。 (1990(平成2)年 読売映画社制作)	ビデオ (広報番組)
★◎中野区ビデオ広報特集号 戦争のなかのこどもたち ―ある国民学校の集団疎開―	野方国民学校(現野方小学校)の教諭によって当時撮影された集団疎開を中心とした戦時中の子供たちの様子をビデオ化した作品。 (1991(平成3)年制作)	ビデオ (広報番組)
★◎中野区広報番組「わがまちなかの」 戦後50年	戦後50年を記念して制作。学童疎開や広島で被爆を体験した区民の体験談や区の平和行政のあゆみをまとめた作品。 (1995(平成7)年12月放映)	ビデオ (広報番組)
★◎中野区広報番組「わがまちなかの」 平和への祈りを次代へ ―戦争体験者の証言―	戦時中、学童疎開の引率や、中野区での戦災、広島での被爆等の貴重な体験を持つ区民の証言をまとめた作品。 (1996(平成8)年8月放映)	ビデオ (広報番組)
★◎わたしたちの街にも戦争があった ―憲法擁護・非核都市の宣言15周年―	憲法擁護・非核都市の宣言15周年を記念して制作。谷戸小学校の子どもたちが戦争について学ぶため、中野の戦災体験を持つ区民から体験談を聞いた作品。 (1996(平成8)年8月放映)	ビデオ (広報番組)
★◎21世紀を平和の世紀へ	平和について考えるさまざまな区の催しに参加した区民に、「平和とは何か」をインタビューし、まとめた作品。 (1999(平成10)年10月放映)	ビデオ (広報番組)

★◎中野区平和の語り部映像記録	中野の空襲や広島の前爆投下等、戦時中の悲惨な様子について、貴重な体験を持つ3名の語り部がインタビュー形式で証言している作品。 (2016(平成28)年制作)	D V D
★◎中野区平和の語り部映像記録 vol2	東京大空襲や中野の空襲、学童疎開時の様子等、貴重な体験を持つ3名の語り部がインタビュー形式で証言している作品。 (2017(平成29)年制作)	D V D
★◎中野区平和の語り部映像記録 vol3	広島の前爆投下、学童疎開及び軍隊での体験など、貴重な体験を持つ3名の語り部がインタビュー形式で証言している作品。 (2018(平成30)年制作)	D V D
★◎中野区平和の語り部映像記録 vol4	広島・長崎の前爆投下、学徒動員の体験など、貴重な体験を持つ3名の語り部がインタビュー形式で証言している作品。 (2019(令和元)年制作)	D V D